

科目名称：	会計実務演習Ⅳ	
担当者名：	眞田浩一	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	2
授業の目的・テーマ		
日本商工会議所の簿記検定試験3級合格レベルの理解を得た学生のみなさんに次なるステップとして、日本商工会議所の簿記検定試験2級(商業簿記)合格レベルの授業を行います。3級と比較するとボリュームは多く、近年は検定試験の難易度が高くなっていますので理解力を要しますが、検定合格を目標に授業を進めます。また、簿記検定のみならず経理実務より経験した経理業界の現状等も踏まえ将来各分野に広く応用できるような内容にしたいと考えています。		
授業の達成目標・到達目標		
会計実務演習Ⅲと合わせて日本商工会議所の簿記検定試験2級商業簿記合格レベルを目標とします。講義は履修学生の理解度を確認しながら進めます。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	60	20	20		100
					0

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 税理士	《経験年数1》 23年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
仕訳（日商簿記2級試験範囲）	仕訳を、応用まで全て正確に解答できる。	仕訳を、応用までほぼ正確に解答できる。	仕訳を、基本はほぼ正確に解答できる。	仕訳を、基本もほとんど正確に解答できない。
財務諸表・精算表（日商簿記2級試験範囲）	財務諸表・精算表問題を、応用的な内容まで全て正確に解答できる。	財務諸表・精算表問題を、応用的な内容までほぼ正確に解答できる。	財務諸表・精算表問題を、基本的な内容はほぼ正確に解答できる。	財務諸表・精算表問題を、基本的な内容もほとんど正確に解答できない。
連結精算表・財務諸表（日商簿記2級試験範囲）	連結精算表・財務諸表問題を、応用的な内容まで全て正確に解答できる。	連結精算表・財務諸表問題を、応用的な内容までほぼ正確に解答できる。	連結精算表・財務諸表問題を、基本的な内容はほぼ正確に解答できる。	連結精算表・財務諸表問題を、基本的な内容もほとんど正確に解答できない。
原価計算（日商簿記2級試験範囲）	原価計算問題を、応用的な内容まで全て正確に解答できる。	原価計算問題を、応用的な内容までほぼ正確に解答できる。	原価計算問題を、基本的な内容はほぼ正確に解答できる。	原価計算問題を、基本的な内容もほとんど正確に解答できない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 収益費用の認識基準・合併と事業譲渡	事後学修 トレーニング 問題16-1 ～16-4 問題19-1～19-2	60分
第2回 課税所得の算定・税効果会計・本支店会計	事後学修 トレーニング 問題17-1 ～17-6 問題18-1～18-3	60分
第3回 本試験問題集（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	本試験問題集 仕訳	90分
第4回 連結会計Ⅰ（資本連結Ⅰ）	事後学修 トレーニング 問題20-1 ～20-4	60分
第5回 連結会計Ⅱ（資本連結Ⅱ）1	事後学修 トレーニング 問題21-1 ～21-3	60分
第6回 連結会計Ⅱ（資本連結Ⅱ）2	事後学修 トレーニング 問題21-4～21-5	60分
第7回 連結会計Ⅱ（資本連結Ⅱ）3	事後学修 トレーニング 問題21-6～21-7	90分
第8回 連結会計Ⅱ（資本連結Ⅱ）4	事後学修 トレーニング 21-8	30分
第9回 本試験問題集（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	本試験問題集 総合問題	60分
第10回 連結会計Ⅲ（成果連結）1	事後学修 トレーニング 問題22-1～22-3	60分
第11回 連結会計Ⅲ（成果連結）2	事後学修 トレーニング 問題22-4～22-5	60分
第12回 連結会計Ⅲ（成果連結）3	事後学修 トレーニング 問題22-6～22-7	60分
第13回 連結会計Ⅲ（成果連結）4	事後学修 トレーニング 問題22-8～22-9	90分
第14回 本試験問題集（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	本試験問題集 総合問題	60分
第15回 本試験問題集（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	本試験問題集 総合問題	60分
第16回 連結会計Ⅳ（連結株主資本等変動計算書を作成する場合）1	事後学修 トレーニング 問題23-1～22-3	90分
第17回 連結会計Ⅳ（連結株主資本等変動計算書を作成する場合）2	事後学修 トレーニング 問題23-4～22-6	90分
第18回 連結会計Ⅳ（連結株主資本等変動計算書を作成する場合）3	事後学修 トレーニング 問題23-7～22-9	90分
第19回 製造業会計	事後学修 トレーニング 問題24-1	60分
第20回 本試験問題集1・2回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 本試験問題集1・2回	90分

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第21回 本試験問題集3回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 本試験問題集3回	90分
第22回 本試験問題集4回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 本試験問題集4回	90分
第23回 本試験問題集5回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 本試験問題集5回	90分
第24回 本試験問題集6回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 本試験問題集6回	90分
第25回 本試験問題集7回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 本試験問題集7回	90分
第26回 本試験問題集8回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 本試験問題集8回	90分
第27回 本試験問題集9回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 本試験問題集9回	90分
第28回 本試験問題集10回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 本試験問題集10回	90分
第29回 本試験問題集11回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 本試験問題集11回	90分
第30回 本試験問題集12回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 本試験問題集12回	90分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。</p> <p>また、事前事後学修としては当日の学修範囲について問題集による事後学修が必要であるが、当日だけの復習ではなく毎日30～60分程度の復習を続けることが簿記を理解するためには必要である。</p>		
成績評価の方法・基準		
<p>定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。</p> <p>授業中の提出物 20%・小テスト 20%</p>		
課題に対するフィードバック		
提出物・小テストは評価し返却する。定期試験は成績確定後、希望者には事務局を通して返却する。		
教科書・参考書		
<p>教科書： よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記2級商業簿記</p> <p>問題集： 合格するための本試験問題集 日商簿記2級</p>		
備考		